

【議事の経過】

[9 時 58 分 開議]

岡本委員長

産業建設委員会を開会します。今日は飛野委員が欠席ですが定足数に達しておりますので、ただちに会議に入ります。レジュメに沿って進めますが、最初に、この度産業建設委員会事務局担当ということで、下間書記が着任されましたのでご挨拶いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

下間書記

(挨拶)

岡本委員長

それでは会議に入ります。

1. 行政視察について

岡本委員長

今日は議題を2つ掲げて皆さんのお手元に配布しています。議題1についてです。牛尾委員、三浦委員に調査・提案していただきました視察について下間書記から日程等の説明をいただきます。

下間書記

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

説明ありがとうございました。

牛尾委員

今回、部長と副参事にも声をかけました。萩・石見空港を使わないといけないので、当日は夜の8時半頃に入るらしく一緒に食事はできませんが、視察は帯同しますとのことでした。

ジャンボタクシーと書いてありますが、この線路はJRが不便で待ち時間が多く、移動はなるべく楽な方が良くかなという、時間の節約で余分に料金がかかりますがこういう設定をさせていただきました。ご了解をお願いします。食事については各市に行って美味しいものを食べましょう。

JRが鈍行で時間があるので現地視察を入れていきます。寺社観光を生かしたまちづくりで現地を見ていきたいと思っております。

岡本委員長

ありがとうございました。視察に絡む準備作業をいただいた方々ありがとうございました。

前回、昨年度の報告をされている方は避けて、この度の行政視察の報告者を私から指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

気仙沼魚市場については笹田委員にお願いします。大船渡魚市場については私がさせていただきます。仙台市役所のクラウドファンディングについては串崎副委員長にお願いします。

以上までで、何か質問がありますか。

三浦委員

みがきいちごをご存知ですか、あれ仙台です。あれクラウドファンディングで支援を受けて始めたような気がします。仙台市さんもクラウドファンディングの仕組み自体は終わっているのと、僕の記憶だと民間の企業支援団体がサポートしてクラウドファンディングをやって、みがきいちご事業を始めたはずですよ。

来週のことなので時間はありませんが、市役所でクラウドファンディングの仕組みを聞くのと、クラウドファンディングの支援を受けて事業ができた所があるなら、産業建設委員が現場で見させてもらうのが良いかと思って。

岡本委員長 笹田委員 牛尾委員 下間書記	今の提案についてどうでしょうか。 時間があればぜひお願いしたいです。 この中でないかな、3つ事例が上がっていた。 はい、3つ入れているのですが。その民間の所から話を聞くということですか。
三浦委員	今探したのですがやっていた団体名を忘れてしまって、今どういう動をされているのかが分からないのと。
下間書記	1番のレディーフォーは早いうちから立ち上げられたようなことは言っていたのですが。
串崎副委員長	また調べて、できればやるということにしてください。時間さえ取れば行くということで。
岡本委員長 牛尾委員 下間書記 牛尾委員 三浦委員	三浦委員が調整してください。 仙台市へ行かないとなると問題があるから。 それは無理なので。 ここに書いてあるか。 ここに書いてあるものについては、クラウドファンディングのプラットフォームなのです。だから案件を集めてきて支援する中で、その中から生まれた案件の1つが恐らく、みがきいちごだったはずなのです。だから仕組みと併せてそういうのが現場で見られると、雇用や商品開発の話が聞けると、より良いかと思って。
笹田委員	いちごもあるトマトもあるし。
岡本委員長 牛尾委員 下間書記	そういうことで三浦委員は調べてください。 この期間の中で行けるなら。 はい、では後で相談させてください。
岡本委員長	では、この件については終わらせていただきます。

2. 政策討論会の議題について

岡本委員長	一番早いのは福祉環境委員会、昨日の総務文教委員会では行政視察について方向づけがされたようです。我々はこのたびの議会報告会が終わってからということで私もお案内した記憶がありますが、既に他の常任委員会がされていますので、我々も前倒しで皆さんにご提案していただくと思います。 資料4を見てください。このたびの常任委員会がしなければいけない1月から4月の下旬となっていますが、意見交換会、調査研究、先進地視察等のテーマの決定、特に討論テーマの決定についてやらなければいけないので、今日は少し下話しをして次の段階には方向性を決めたいと思います。このことには前々回の井戸端会の報告があつて、その中から比較しようという話もありました。このことを思い出すことも含めて三浦委員に少し説明していただいて、皆さんからご意見をいただきたいと思います。
三浦委員	(以下、資料をもとに説明)
岡本委員長	広報広聴からテーマ付けをして各議会報告会はこのテーマにおいて色んな意見をいただいたものを我々が吸い上げます。私は昨日、浜田公民館に行きました。お魚センターリニューアルについて話があり、2、3

件の意見をいただいています。これについては改めて、まとめた意見をいただきます。我々、産業建設委員の委員についてテーマを出されたところについては傍聴していただく形をお願いできたらと思っています。

このたびの政策討論をどのような形で持っていくかが大きな課題だと思っていますし、この大筋は政策提言に結び付けたいという所だと思えますが、政策提言するということは9月のヒアリング等を入れて来年度事業で予算化する形、いわゆる実現性のあるものを選定する必要があると思っています。我々委員会から政策提言して、次年度の予算にどう反映するかを頭に置いた提言にしたいと思っています。皆さんからご意見があればうかがってテーマ付けしたいと思いますがいかがでしょうか。

牛尾委員

委員長の言われることは良いし初めてやることだから、ある程度幅を持って議論したら良いと思います。昨日、金城は高齢者の移動手段の確保というテーマでやりましたが、前段の質疑応答でお魚センターの問題について言われまして、議員一人ずつ意見を聞きたいと。ここの皆が賛成だったからと言ったら、最終的にはしっかりやってください応援しますと言われました。だから、テーマがなくてもそういう質問が出てくるので皆さん関心がおありなのだと思います。

お魚センターは実は今回、気仙沼と大船渡の二か所を続けて行くというのは、買取が決まって、ぼんやりしたものは決まっていますが、中身についてはどういうようにするのかは全く決まってないので、1つのテーマとしてあげるなら議会主導で提案する必要があると思っていますので、今回の視察を頭に入れながら、1つのテーマとすれば、お魚センター再生については相当な税金を突っ込むので、我々も相当な提言をしていかないといけないと思いますので、必要かと思えます。

笹田委員
岡本委員長

結局、何個やるのですか。

それは別に構いませんが、どうも他の委員会は3つくらい出すという話を聞いています。それで各々の委員会が3つくらい出して、それから政策討論幹事会の中でまたチョイスしてということで。全体としては1つか、2つということで、今の政策提言へ持っていくと。討論会をやって方向づけをするという話でした。だから我々としては数は決まっています。

牛尾委員

昨日、福祉環境委員会を傍聴したら、相当具体的な政策提言をしたいと言っていました。実現可能なことでないと、当然予算が伴わないことでないと意味がないと言いながら、執行部側が最後に言ったのは、現行でも色んな制度があると、その制度があるが故に、現行制度との整合性を含めてどのようにお考えでしょうか、という逆質問がありました。これはもう至極当たり前のことであって、その辺をやはり僕らも踏まえながら議論しないと。今、いくつか健康増進の関係のテーマだったのだけど、いくつかある中で議員が新しいものを持ち込んだとしても、執行部も現行制度を既定路線の中でやっているのだから戸惑う。そんな感じもしたので、それも頭に入れながらやるべきことを絞り込まないと。

笹田委員

例えば各常任委員会から3つずつ出たら9個、その中から全体で話し合うのが1、2個という話になるのなら、別に我々からは1つでも良いと思いますし、政策提言や政策立案まで行かなくても良いと思っています。

す。話し合いをしたり、議論することが大事で、その中から政策提言になるなら良いという観点でやらないと、先ほど牛尾委員が言われたようにゴールありきでやると違うことになりかねない。市民の気持ちがあつて注目されていて、必要だと思われる所を引っ張ってきて話をした方が。ゴールを見ずに皆の意見を集約して議論する、議論の中から出てきた場合に立案する、そのスタンスの方が良いと思います。全員で議論するなら一つこれをお願いしますという方が選ばれやすいと思うのです。毎年毎年あることなので、僕はそう思いました。

三浦委員

時間も限られている中、複数よりはある程度絞ってこの委員会の中でも議論すべきではないかと僕も思います。ただ、ゴールは政策立案であり立案して執行部に執行してもらうためのものを提言する所まで、僕個人的には議会から出していくべきだと。そう思っていると予算も現行制度との兼ね合い等、かなり裏づけデータを考えながら僕らも議論しなければならない、となると、ある程度の時間がかかってくると思います。もちろん「これについて話をしよう」というのも入口としては良いと思いますが、最後にどういうレベル感で仕上げていくのか、提言のレベル感を上げていく、そこは執行部が受け取った時にきちんと考え得るレベル感まで議論できたら良いなど。それは政策討論会自体が今回初めて行われる物なので、全議員が集まってどういう議論になるのかも分かりませんが、そのところは目指しながらサイクルを回していくことを意識しておきたいと思います。話を戻すと、テーマはある程度絞って取り組んだ方が良いと思います。

川上委員
串崎委員

私も笹田委員と同じで、テーマは絞った方がよいです。

今、言われたことで良いと思いますし、今から報告会の結果が出てくるのでそれを見ながら決めても良いように思います。牛尾委員が言われたお魚センターも第一候補で良いとも思いますし、それを見て決めても良いと思いますし、それで、ここでいくら話しても全体で通らなければ無意味です。

岡本委員長

この度、早めに招集をかけたのは、これを見てからということではなく、ある程度の腹入れをしておいていただきたいと思ったからです。先ほどのテーマ付けをしたところに、例えば議会報告会で取り上げられるなら意識的にそこへ行って聞いてくるのも必要ではないかと思いい提案させていただきました。そのような考え方でお願いします。

笹田委員

先ほど三浦委員が言われたように政策立案や提言は、テーマによって変わると思います。例えば草刈りなら予算も出てくるから、予算との整合性があるだろうし、お魚センターとなると大きな予算も可決されていますし、まさに提言という形になると思います。テーマによって立案なのか提言なのか変わってくるので、我々としては一つに絞ればその方向性が決まってくると思います。それは同じスタンスでやって行けたらと思います。

三浦委員

政策討論会を毎年行っていくとはいえ、例えば、お魚センターをどうするかタイミング、あるいはテーマによっては緊急を要する物をとか、テーマによって捉え方が違うと思います。緊急性があるものは先にやった方が良いでしょうし、今のタイミングで取りかからなければ

ば、来年では遅いものの中にはあると思います。何を優先すべきか考慮すべき点はあると思いますので、その中でテーマを絞っていけばいいと思います。

岡本委員長

具体的に言ってほしかったのですが、今、とりあえず書かないといけないのは、お魚センターはもう討論して我々が提案する形が必要なのだと思います。今一つに絞るという意見が出ましたが、私個人の意見を言えば、それを絞っていくのか、それともこれは今まで我々が今までずっと課されてきて論議している部分なので、もし上に上がらなかったらどうするのかということもあります。だからこれは我々が随時、執行部とのやりとりをして提言をしていくことは必要だと思っています。だからこれを一つとして、それ以外にこれともう1つあった方が良いのかなと私個人としては思っているのですがいかがでしょうか。

牛尾委員

お魚センター買取は議決したけど、核心の中身の中心になることを含めて、2階をどうするかといろんな個別のことが全く決まっています。だから中心の方針を、周辺地域の活性化も含めて今後どうするのか早く決めて、そのベースの上に2階の賑わいとなる店舗は本当に3店舗で良いのか、そういう具体的な施設周辺も含めた打ち出し方、どのような施設テーマを出していくのかということなどが全然決まっていないのですよ。どこが指定管理をするかすら決まっています。だからそういう大きなテーマがあるので、私はやはり緊急度から言えばこれをやっておかないといけないと思います。

笹田委員

お魚センターを中心としてエリアの活性化ですよね。

岡本委員長

我々はこれ1本に絞りますか。

牛尾委員

議決の重みがあるのでそこまで突っ込んで提案していかないといけないのではないかと思います。

笹田委員

鳥獣対策や草刈りは継続的な課題ですよね。毎年の課題なので、それも議論はしないといけないですが、緊急性を言えばやはりお魚センターが高いと思います。

岡本委員長

この度の視察もその観点がありますから、では我々はお魚センター1点絞りで出すということでしょうか。

(「はい」という声あり)

牛尾委員

皆さんが納得してもらえれば良いのですが、やはりこれは委員会全体の合意が必要なので。

岡本委員長

政策討論の形でテーマに上がらなくても私たちはやっていく必要がありますし。通年会期にもなりましたので、随時執行部の動きを踏まえながら、執行部が決めたものを我々が論議するのではなく、我々がある程度計画したものを提言する、早く早く提言する方向にしたいと思います。

笹田委員

正副委員長には、今までどのようなことに決まりそうかの情報提供はありますか。

岡本委員長

今の所ありません。これからそのようなことがあれば。

牛尾委員

昨日、福祉環境委員会が初めてやったのだよね。

下間書記

しかし福祉環境委員会は何度も政策討論についてされています。

牛尾委員

昨日、提案条例の話があったから、提案条例は別段、委員会担当がやれば良いだけだからあれもやっていたが。

下間書記
あそこは最初は一人一人がテーマを出されて、その中でどれにしようかという動きだったので。

岡本委員長
私たちは早速そのテーマが絞っていったのであれば、執行部を呼んで今どういう段階でどこまでやっているかを少し聞いて、我々は委員会としてどんどん提案するよということで、ボールを投げ込んでいこうと思っていますがどうでしょうか。

牛尾委員
良い話です。僕らがお魚センターを緊急にやる中で、不安点、知りたい点、疑問点はキャッチボールしないと分かりにくいと思います。

笹田委員
僕ら一般質問では色々言うけど情報は一切ないので。

牛尾委員
議決したのだから、新しい施設をどうするかくらいは所管委員会にある程度出してもらって、すり合わせをしながらやる方が早いね。まあ、それはそれで執行部と議会はチェック機関なので執行部と対立しても良いと思うけど、執行部の意見も聞いておかないといけない気がします。

笹田委員
事前調査にならないようにしなければいけないのでしょうか、議会に上がる前までに早くしないと。議案で上がると事前調査になるから。

牛尾委員
どうするかについては全く決まってないので。

岡本委員長
色々な視点を聞いておきたい、もしくはこういうのが課題なのではないかというのを執行部に来ていただいて、そのことを投げかける。実は昨日の浜田公民館の議会報告会も我々が思うことを市民の人は聞いています。高い、接客が悪いといったことを言っていますので、それは市民の声として出せるので、それらを踏まえて執行部と意見交換をやりようと思います。

このたび執行部も同行されますね。

下間書記
はい、湯浅部長と戸津川参事です。

岡本委員長
ですので時間があればそういう話をしたり、あるいは事前に質疑をするために理解しておいてくれという下話はしておいた方が良いと思います。

牛尾委員
執行部を呼ぶなら、お魚センターの役員で副市長が入っているから副市長が出た方が良くないか。参考人くらいで。

下間書記
テーマとしてはお魚センターの再生、リニューアル、何ですか。

笹田委員
お魚センターを中心としたエリアの活性化について。

岡本委員長
副市長が来てどうだというのはなく、当然、今日は来ていませんが、傍聴がある中で当人も発言しづらいことが出てくるだろうと思っています。

牛尾委員
発言しにくいことはしなくて良いわけで。部長や参事では答えられないことで、副市長ならということがあるとすれば、副市長がいないと話が前に進まないと思って。笹田委員が言うように、何か上がっているわけではないので事前審査にはならないし。

下間書記
執行部との意見交換。

三浦委員
それとこれが政策討論会で取り上げられるか、取り上げられないかは別として、この委員会としても提言をしようといった時にどのくらいのゴールを描きながら議論を進めていくかは持っておかないと、毎回、毎回何をするか後出しになったり遅れてしまったりすると思います。先ほど牛尾さんからご提案があった、執行部が今の状況を聞く、これからど

うするのかは、我々の頭をそろえるにも必要だと思いますが、それを踏まえてどのような議論をしていかないといけないのかは、ゴールを設定しておかないと話がバラバラになりそうな気がします。例えば施設の考え方や施設の役割、どういう機能が必要なのか、それが与える港全体のインパクトはどうかといった項目を提言するとなると、少なくとも大項目4つについてはまとめていかないといけない。そうなった時、必要な情報として今回の視察もタイミングが良いので、裏づけとなる他サンプル情報が必要だとか、そうするとある程度の期間内にこれについては議論していかないといけないというのが、今の仮の案でも4つくらいは出る。その4つで十分なのか、提言のゴール像がやりながら変わっていくこともあると思いますが、共有しておくこれから委員会で議論するテーマが明確になるのではないかと思います。いかがでしょうか。

岡本委員長

私の感覚で言うと、私は建築家なんで、この前の検討委員会があった時に設計用プランをどうこうの話が出たところ、どのようなタイミングで彼らがプランニングして提案するか、それは当然、検討委員会に出すのですから、ここのプランニングするまでがいつ頃かは入口で抑えたいと思っています。そうすると我々はそれ以前に方向づけをしないとお魚センターの中身については、提言をしていかないといけないと思っていますので。今度、執行部のやりとりの中でいつそれをやるのか、いつプランニングについて発注なりするかを話をして、どういうコンセプトでやるかは当然、執行部が設計者側に出さないと出てこないの、その辺の考え方も聞いておかないといけない。コンセプトはそれではだめだ、こういうコンセプトを足すべきといったことは我々ですすめるべきだし、もしかしたら執行部の答弁によっては毎週することになるかもしれませんが、そういう形で進めたらどうかと思いますがいかがでしょうか。

牛尾委員

良いと思いますが、結局、今の状態で行けば執行部にも確たるプランがあるわけではないのです。例えばどういう指定管理者を絞って募集するのも決めてないと思います。指定管理者によっては自分の直営店にしたいと言うかもしれないし。もう全てが決まってないのです。だから早いうちに執行部と話をしながら、どことどこを僕らが提案しないと困るかも含めて。

三浦委員

どの部分を提言するのかは、議論が全部になれば計画そのものをこちらが作ることになってしまうし。

牛尾委員

だが買い取ることは間違いない。

岡本委員長

例えば指定管理ということは、かなり大きなネックになるのだろうと思っています。

牛尾委員

今だから言うけど、どういう指定管理が来るかも分からないのに、どういう性格の指定管理を求めるかも決めてないのに議決するなど、本当を言えば恐ろしい。しかしそうであってもやらないとならないだろうということで議決したのだけど。だからお魚センターにはすごく大きな問題があります。

笹田委員

今回はこれに決まったということで三浦君が言うことは、僕としては例えば政策討論会に外れた場合でも重要案件の意見交換会として委員会でやっていくのだと強い気持ちを持ったうえで、仲買人を呼んでみるだ

とか、漁協関係から話を聞いて提言までつなげていく覚悟というか、そこまでやらないといけないように聞こえたので。

岡本委員長
笹田委員

私もそう思っています。

この内容については検討委員会の中にも出ています。この中から提言ができるのが筋だと思っています。

三浦委員

今日の午後でしたよね。委員会が開かれて委員会で議論されたことを外注されたコンサル会社が意見書をまとめるような予算が通っていますが、その民間事業者が今日初めて呼ばれるようなので。だから今までは意見集約の段階だと理解しているのですが、ようやくこれで吸い上げてきたものをその外部会社がどのようなまとめ方をしていくのか、これからだと思えます。

牛尾委員

そういう意味で今回行く大船渡は非常に良い例です。お魚センターがあって、仲卸があってその上にレストランがある。1991年に木彫りでできた大船渡お魚センターが赤字で解散したので、似ていると言えば似ています。向こうは事業資本は2億7、8千万でこちらより多いのだけど。しかもそれを全部食ってしまって解散という、非常に失敗例の所なので参考になるかなと。本当はその辺の生の声を聴きたいのですが、なかなか答えにくいかもしれませんが。

岡本委員長

そうすればあとは執行部を呼んでその中で質疑したり、それに基づいて我々が方向づけをする、そして政策提言に持っていく。さらには、それはそれとして我々は我々の重要案件として論議していくということになると思えます。よろしいですか。

(「はい」という声あり)

他に何か質問ありますか。

(「なし」という声あり)

ないようですので、政策討論会についてはお魚センターを我々の議題として挙げたいと思っています。

3. その他

岡本委員長

その他で何かありますか。

(「なし」という声あり)

ないようですので、以上で産業建設委員会を終了します。

[10 時 55 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員長 岡本 正友 ㊟